



アクセス

スマートガード

→ 日本語

AXESS

アクセススマートガード

不正利用検知

アクセススマートガードは、スキー場のウインターヒーズン中に、リフト券の不正利用検知を支援するスマートなモジュールです。

機械学習アルゴリズムにより、ゲート通過者の写真データを自動で照合、仕分けします。スマートガードは、パターン、色、形状などを解析して照合するもので、生体認証ではありません。アルゴリズムが一

致スコアを算出し、スコアが低い場合には警告を発するとともに、不正利用の可能性が高いケースから順にリフト券をリスト化します。

スタッフはリストを閲覧し、不正利用の可能性が高いケースについて写真を目視確認します。不正利用が強く疑われる場合、リフト券を利用停止にするなど必要な処置を講じることができます。

特長

- AX500ゲートカメラ次世代が撮影したゲート通過時の写真を自動照合
- 一致スコアにより自動仕分けされた写真をスタッフが目視確認して対応を決定
- 券種や人の区分などでリフト券を絞り込み
- 不正利用が確認されたケースをリスト化し、対応情報を記録して透明性を確保
- 個人情報非保持で匿名性を確保
- 一定期間後に写真を自動削除（手動削除も可能）
- スマートガードによるバックオフィスでの確認またはレーンコントローラモニタによるライブ確認

